

事業報告書

事業名	少年少女スポーツ選手メディカルチェック (平成29年度播磨町住民協働推進事業)		NO.	
			報告日	平成30年4月12日
			氏名	尾崎 敏
期間	平成29年11月18日(土)、30年2月4日(日)	場所	播磨町総合体育館	
目的	少年少女スポーツ選手メディカルチェック～青少年のスポーツ障害予防～ 中学生期までの子どもは骨や筋肉の発達が不十分で、このような時期にスポーツを通して同じ動作を繰り返すと、大人になって後遺症を残すことがある。将来のある子どもをオーバーユースによるスポーツ障害から守るため、メディカルチェックを通じて正しい知識の普及啓発に努める。また、その前段として元プロ野球選手の桑田真澄氏による講演会を行い、長時間練習がもたらす弊害や安全で正しく楽しいスポーツ活動を関係団体に呼びかける。			
実績	参加人数	講演会300人・メディカル55人	ボランティア数	13人(播磨メディカルチェック研究会)
参加対象	播磨町内で活動する小学5年生から中学生までの少年少女スポーツ選手と保護者及び指導者			
協力団体	共催:播磨メディカルチェック研究会 後援:播磨町・播磨町教育委員会			
内容	・前年度に引き続き平成29年度住民協働推進事業に採択された。その内容は、桑田真澄氏による講演会と上肢・下肢2回に分けてのメディカルチェックで、特に2回目は野球以外の幅広い種目で募集を行った。 ・11月18日の桑田真澄講演会は、その知名度もあって小学生から80代の高齢者まで約300人が集まり、熱心に聞き入っていた。なお、翌19日に予定していた「野球肘」の検診をメインとした上肢のメディカルチェックは、2団体14人の申込しかなかったため、メディカル本部と調整して急きょ中止にした。 ・2月4日の下肢のメディカルチェックは初めて開催した。これは、ジャンプや腰の回旋などを繰り返すことによって腰椎分離症(亀裂骨折)になる子どもが増えている、という医療現場の声を受けて行ったもので、野球・バレーボール・スナッグゴルフの3種目で参加があった。 1. メディカルCK内容 ①ケガ予防セミナー②体幹、股関節などの機能検査③医師による検査④ケガ予防ストレッチ指導⑤二次検診要請 2. 参加者 少年野球13人+10人(指導者・保護者) スナッグゴルフ1人 小学生バレーボール4人+2人(保護者) 中学生バレーボール20人+5人(指導者・保護者) 3. 検診結果 ①早急に再検査を受けることを強く勧める→12人②再検査を受けることを勧める→11人③問題なし→15人			
効果・課題	下肢のメディカルチェックでは半数を超える二次検診要請者が出た。なお、キャンセルになった1回目も含めて申込者は50人程で、改めてケガ予防に対する指導者・保護者の意識の低さ、野球などシーズン中の日程設定の難しさを感じた。 全体の収支では、桑田真澄氏を招へいしたためクラブの持ち出しは増えたが、多くの住民が講演会に参加し喜んでくれたことは意義があったと思う。			
写真				
	写真用ディスク /sc21事業/少年野球メディカルチェック/2018.2.4メディカルチェック			
添付書類	・収支報告書(必須)			

確認	事務局長印	コメント欄

少年少女スポーツ選手メディカルチェック参加者アンケート

種 目：少年野球、スナッグゴルフ、バレーボール（小学生・中学生）

回答数：38人（男14、女24）

Q1 スポーツの試合や練習中に、肩や肘・足・腰が痛くなったことがありますか。

Q1-2 痛くなったことがある人に聞きます。痛くなった場所は何処ですか。（複数回答）

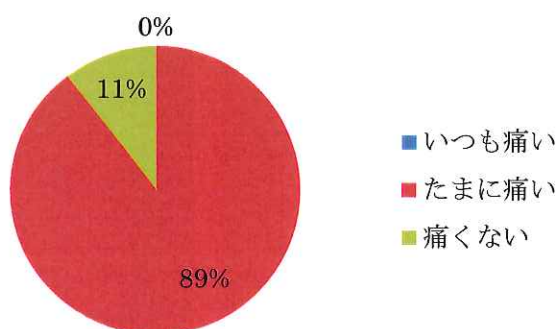
Q1-3 痛くなった時、試合や練習はどうしましたか。

Q2 メディカルチェック（トレーニング指導含む）を受けてどうでしたか。

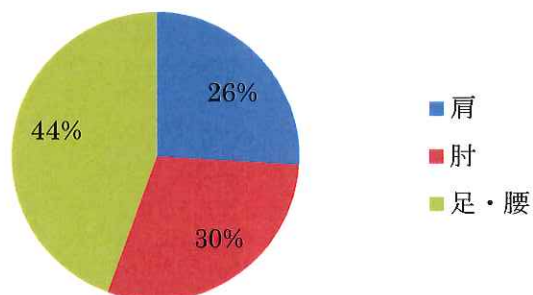
Q3 メディカルチェックは何回目ですか。

Q4 メディカルチェックは次も受けたいですか。

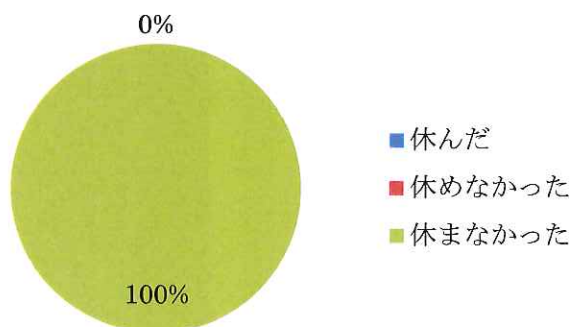
Q 1



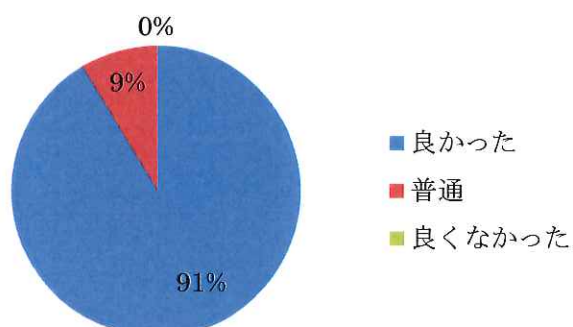
Q 1 - 2



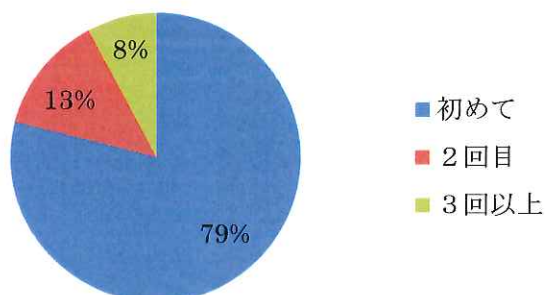
Q 1 - 3



Q 2



Q 3



Q 4

